

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：阿久和保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：前田 由美子	定員（利用人数）：80（84）名	
所在地：〒246-0025 横浜市瀬谷区阿久和西2-28-13		
TEL：045-362-6005	ホームページ： http://www.sanno-heiseikai.jp/akuwawp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2008年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 山王平成会		
職員数	常勤職員：23名	非常勤職員：12名
専門職員	（専門職の名称）：名	
	保育士：23名	看護師：1名
	管理栄養士：1名	栄養士：2名
	調理師：2名	子育て支援員：1名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	居室：0歳児室	設備：調理室
	居室：1歳児室	設備：調乳室
	居室：2歳児室	設備：沐浴室
	居室：3歳児室	設備：事務室
	居室：4歳児室	設備：休憩室
	居室：5歳児室	設備：応接室
	居室：一時預かり保育室	設備：遊戯室
		設備：食堂兼多目的スペース
		設備：地域子育て支援スペース
		設備：幼児用トイレ
		設備：乳児用トイレ
		設備：テラス
	設備：バルコニー	
	設備：エレベータ	
	設備：園庭	

③理念・基本方針

<理念>

<法人理念>

- 多様な福祉サービスに対し、その利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫します。
- 利用者が個人の尊厳を保持しつつ心身ともに健やかに育成されることを目的とします。

3. 職員、そして法人に関わる全ての人が充実した心豊かな人生を実現するために、一人ひとりがお互いを尊重し、感謝する気持ちを大事にする組織を目指します。

<保育理念>

1. 子どもの最善の利益を第一に、個性を育み、自己肯定感が高まる保育を目指します。
2. 家庭や地域と連携し、地域社会に根差した保育を展開していきます。

<基本方針>

1. 家庭や地域社会と心を通わせ、積極的・意図的に交流および協力しあい「共に育つ、育てる」の関係性を構築します。
2. 子どもが家庭と保育園という異なる場所で、その一日を安心して生活できるように、二つの生活領域を連動、継続させます。
3. 愛されている、受け入れられているという心地良さを感じながら、仲間と共に、生きる力の基礎となる、生活する力、遊ぶ力、考える力、楽しむ力が育まれるように保育します。
4. 家庭や地域社会から保育（子育て）や園全般に関する要望・意見・相談は温かく受け止め分かりやすく対応し、より良い保育のための研鑽に努力するとともに社会の責務を果たします。
5. 職員は、笑顔で愛情深く、向上心にあふれ、楽しくて元気いっぱい、夢いっぱいの子ども大好き、保育大好きの間人像を目指します。

<保育目標>

「自然の中で、たくましく、育ち合う子ども」

- 友だちといっぱい遊ぶ子ども
- 生き生きと活動する子ども
- 感性の豊かな子ども
- 互いに思い合える子ども

<保育姿勢>

1. 一人ひとりの子どもの発達や気持ちを受け止め、共感しながら焦らずに、成長を見守っていきます。
2. 土・水・砂・太陽の下で充分遊び、心も体も解放され、楽しく生活できるようにしていきます。
3. 様々な経験を積んでいく中で、自信を持ち、自ら行動しようとする気持ちを育てていきます。

④施設・事業所の特徴的な取組

<阿久和保育園の特徴的な取組>

「温かい愛情と一人ひとりを大切にする丁寧な見守りの中で、安心して過ごせる保育園です。」

1. 自然の中で土、水、砂、太陽、自然の事象などに触れ、五感を使ってのびのびと遊びながら、豊かな経験を通して思いやりの心や社会性を育みます。
2. 保育の中に木育を取り入れ、体感する力、創造性、協同する力、非認知能力などが育みます。
3. 外部講師による「幼児体操」の時間があり、思い切り体を動かして心も体も逞しく育ちます。
4. 未就園の親子の皆さまとの交流を大事にし、園庭開放、園舎開放、赤ちゃん教室、

また、在園時と一緒に保育園行事へ参加していただくなど親子で楽しんでいただけます。また育児相談、栄養相談、発育相談などは随時行い、ご家族に寄り添い丁寧にそして親身になって寄り添うことを心がけています。

5. 元気で明るく楽しい職員が、チームを組んで保育を楽しんでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2025年06月02日（契約日）～ 2026年02月05日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	3回（2020年度）

⑥総評

【阿久和保育園の概要】

●阿久和保育園（以下、当園という。）は、社会福祉法人山王平成会（以下、法人という。）の運営です。法人は、秋田県を本拠地とし、秋田市に2園、横浜市に3園と小規模保育事業A型保育園1園の、計6園の認可保育所を展開しています。法人本部には秋田統括と横浜統括を置き、それぞれに事務長を配置して運営体制を整えています。法人の保育方針は、四季折々の自然に触れる機会を大切にし、開放感を味わえるよう水・砂・泥等に十分に触れて楽しむ場を大切にした保育を行っています。自然に親しみながら、子どもたちが伸び伸びと遊び、楽しく過ごせる温かい雰囲気のある保育園づくりを目指しています。

●当園は、相鉄線三ツ境駅から神奈川中央バス宮沢行き「向原」または戸塚行き「谷戸阿久和」で下車し、徒歩5分程度の閑静な住宅街に位置しています。園舎と隣接して阿久和向原公園があり、少し足を伸ばすと広々とした阿久和向原第二公園や阿久和小金第二公園等もあり、四季を通して豊かな自然に触れられる恵まれた環境です。園舎は鉄骨造・陸屋根2階建てで、広い園庭や遊戯室（ホール）を備えています。また、地域の子育て支援にも積極的に取り組んでおり、育児相談、園庭開放、園舎開放、交流保育、一時保育等を実施しています。親子体操、あかちゃん広場、地域リズム等のイベントも開催しており、その参加状況は「地域交流のお部屋」にて随時発信しています。

●当園の定員は80名で、0歳～5歳児までの保育を行っています。現在は84名の園児が在園しています。園舎内は木材を多く使用した温もりのある造りで、開放感のある空間となっています。保育室は年齢に応じて分かれており、1階は0歳児・1歳児クラス、2階には2歳児～5歳児クラスその他、一時預かり保育室や子育て支援スペースを設けています。保育理念・方針の下、職員が一丸となって一人ひとりの子どもに寄り添い、その時々のお気持ちを受け止め、共感しながら成長と発達を支援しています。子どもたちが「楽しかった！」「また、明日も保育園に行きたい！」と思えるような保育を実践し、職員も子どもたちも笑顔が溢れる保育園です。

◇特長や今後期待される点

1. 【自然の中で育ち合う保育】

当園の保育の特徴の1つに「解放感を味わえるよう水・砂・泥等に十分に触れ、楽しむ場を大切にした保育」が挙げられます。子どもたちは、夏場の水遊び・泥んこ遊びはもとより、日常的に砂遊びや花壇・畑の土いじりを楽しんでいます。手からの刺激を通して五感をフル活動しながら、気持ちの赴くままに楽しむ姿は、子どもの生きる力につながっています。また、当園周辺には自然豊かな公園が点在し、子どもの年齢・発達に合わせて散歩に出かけています。園舎に隣接した公園もあり、自然を身近に感じられます。

広い園庭の周りにも桜・銀杏・柿の木等が大きく育ち、黄色い銀杏の葉が地面を覆い、たわわに実った赤い柿の実とのコントラストが鮮やかです。調査日にも散歩や園庭での戸外遊びを楽しむ姿が見られました。保育士と砂遊びを楽しむ様子や、1歳児が築山をよじ登り、満面の笑顔で滑り降りる姿にたくましさを感じられます。子どもたちは恵まれた自然の中で、四季折々の自然を体や心で感じ、伸び伸びと遊び、楽しく過ごしています。

2. 【子どもを尊重した保育】

保育理念「子どもの最善の利益を第一に」の下、全職員で子どもを尊重した保育を展開しています。日々の保育の中で、子どもの思いに寄り添った保育実践を心がけ、子どもが主体的に活動できていたのかを保育日誌等で振り返っています。子どもたちが自主的、自発的に遊べるよう、年齢や発達に合わせて環境を整え、玩具・絵本・教材等は子どもが選んで遊べるように配置され、自由に好きな遊びを楽しめるよう配慮しています。子ども一人ひとりの発達を記録・確認しながら成長を感じ、見守りながら子どもの主体性を伸ばすよう全職員で情報を共有し、保育に生かしています。また、不適切保育について職員アンケートを取り、子どもを尊重した保育ができていたのかを振り返り、求められる保育について討議し、より良い保育につなげています。今回の利用者（保護者）アンケートでも「愛情を持って対応、接してくれている」、「子どもの気持ちに寄り添っている」、「子どもに適した保育」、「のびのびと保育」、「信頼できる園」等々の意見が多く寄せられ、一人ひとりの子どもに応じた丁寧な保育の実施が窺えます。

3. 【地域子育て支援の推進】

当園では、保育園の専門性を生かした様々な子育て支援事業（園庭開放、施設開放、交流保育、育児講座、子育て相談、一時保育等）を実施しています。園舎内には一時預かり保育室・地域子育て支援スペースが設置され、遊具も十分に整えられています。年間計画に沿い、地域親子の居場所として各事業を開催し、経験豊かな専任保育士が対応しています。外部講師による親子体操、園行事への参加も人気があり、毎回、地域の親子が楽しく参加しています。また、0歳児～1歳半までの「あかちゃんひろば」では、保育園で提供している離乳食を試食してもらいながら、栄養士による栄養相談、看護師による健康相談が保護者に好評を得ています。瀬谷区の保健師や歯科衛生士とも連携しており、子育て中の保護者の悩みや困り感の解消に取り組んでいます。園内研修の中で、こども家庭庁策定「はじめの100か月の育ちビジョン」を職員間で学び合い、より良い支援に向けた取組につなげています。当園の子育て支援の様子は、ホームページ「地域交流のお部屋」で公開されています。

4. 【地域共生社会の実現に向けた保育園の取組】

当園は、社会福祉法人の理念を踏まえ、すべての人がいきいきと生活できる社会の実現に向けて、地域共生社会への取組みを積極的に推進しています。保育園が主体的に行っている活動は地域の子育て支援であり、継続して取組んできたことで地域に定着しています。今後は、妊娠期の母親への支援も視野に入れ、区の保健師との連携体制を構築していきます。また、地域子育て支援拠点事業についても情報収集を進め、実現可能性を検討していきます。地域との連携も充実しており、地域の事業主の畑をお借りして行う野菜の栽培や収穫体験は、子どもたちにとって有意義な活動となっています。今後はこのつながりをさらに広げ、高齢者施設の方々との交流も計画しています。多方面の事業所の協力を得て実施している交通安全教室やごみの分別学習等も、子どもたちが楽しみながら学べる場となっています。また、社会構造の変化や地域の暮らしの状況を踏まえ、制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民の

一員として地域を盛り上げる存在でありたいと考えています。さらに、障害者雇用に向けて、職員の理解を深めるために障害の特性や仕事の切り出し方、良好な関係性の構築について学び、既に取り組んでいる施設から情報を得る等して準備を進めています。互いにとって良い環境を整え、受入れを実施していく予定であり、期待されます。

5. 【人材確保・育成への取組】

当園の事業経営上の課題として「人材確保と育成」が挙げられています。この課題は、当園に限らず、保育園運営上に共通するものと思われます。法人の働き方改革では、休暇取得の推奨、定時退勤、休憩時間の保障に取り組むと共に、職員アンケートを実施し、職員の意見や思いをピックアップし、業務の効率化・改善への取組を計画・実施しています。人材育成では、法人で定めたキャリアパスを基に、職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っています。法人作成のジョブマトリックスに各階層別に「職務内容」、「職務に応じた知識・技術能力」、「該当する研修」、「必要な資格」が明記され、法人がキャリアアップ研修をバックアップし、職員一人ひとりのスキルアップが図られています。また、法人横浜4園で合同研修を実施し、相互的に研鑽を図っています。職員ヒアリングでも「働きやすい」、「職員間の関係が良い」等の発言があり、働きやすい職場環境と推察されます。さらに、職員の定着に向けて、長く働きたいと思える環境作りへの取組に期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 阿久和保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

第三者評価受審は保育園を広い視野で見て、保育の資質の向上の機会と捉え、園内研修として全職員で取組みました。一つひとつの評価項目を丁寧に確認し合うことで理念を基に園目標や保育姿勢、運営面など幅広い理解が必要で、さらに全職員で同じ方向を向いていることの大切さを共有することができ、有意義な時間となりました。

保護者アンケートからは、保護者の願いや思いを感じ取ることができました。真摯に向き合い改善すべき点は早急に取り組む、ご理解いただきたいことはきちんと説明責任を果たし、共に子どもの成長を願っていかれるよう、信頼関係を築いていきたいと思えます。

今、保育園に求められている責務は多様化しており、正に保育園は子どもにとって生活の場となっています。生活習慣の自立、人との関わり、心の安定と成長、身体的な発達等、子どもに関わることに加え、保護者支援、地域の子育て支援についても責任があることを再確認し、保育の質の向上を目指して行かなくてはならないことを再確認することができました。今後、さらには学びを深め、実践できる保育力を磨いていきたいと思えます。

愛情深く温かい保育をすること、保育園という組織として誰からも信頼される保育園であることを心がけていきたいと思えます。

《評価後取組んだこととして》

1. 評価項目で理解できていない職員が多かったものについては（特に運営面）、法人事務長に確認し、書類として明記されているものを示すことができることを説明しました。職員間の信頼関係や安心して働ける職場であるよう再確認しました。

2. 利用者（保護者）アンケートを全職員で確認し、保護者の思いを真摯に受け止めたり、感謝の気持ちを持つことを確認しました。
3. 保育の内容について振り返りをし、来年度の保育計画を作成するに当たり生かしていこうと思います。

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり